

地元法人の従業員通勤車両を出張安全点検

トヨタカローラ香川

トヨタカローラ香川（向井 良太郎社長、香川県高松市）は、交通安全対策の一環で、地元法人の福利厚生制度を活用した従業員通勤車両の出張安全点検の取り組みに2022年10月以降注力している。香川県の交通事故率が全国的に高水準で推移する現状を受け、自動車の定期点検の啓発の徹底で「正しい状態で走る車が一番多い県」にすることをコンセプトに地域交通に貢献するのが狙いだ。

同社はアンケートを通じて、「点検自体はした方が良い」と思っている「人が80%以上」の一方で、「お金がかかる」「面倒くさい」「時間がない」などの理由で点検しないユーザーの現状を把握した。このユーザー意識の乖離解消

に向け「販売店に入庫するのが面倒で時間がないなら、出張でわれわれが行こう」と発想を転換し、「スマートメンテ」という新たなサービスを立ち上げた。点検効率を高めるため、まとまった点検台数をこなせる法人の従業員車両を対象とした。

スマートメンテの特徴は、まず法人契約で従業員の福利厚生メニューに「点検」を入れてもらう。これによって、この法人の従業員は自身がオフィスでの業務時間中に、車両を置いておくだけで販売店エンジニアによる日常点検15項目を受けられる。点検結果は全てLINEでデータ化して報告されるほか、点検費用は法人負担となるため、基本的に従業員負担はなくなる。



香川を「正しい状態で走る車が一番多い県」に

【受賞者コメント】
この度は、自動車ユーザー連携賞をいただき大変光栄に思っております。県内の交通マナーが悪く交通事故も多いことから、クルマの点検を通じて安全意識を高めたいという想いでこのサービスを始めました。その想いに共感いただき、いち早く「スマートメンテ」を導入頂いた西村ジョイ様には大変感謝申し上げます。より安全で楽しく移動ができるように、クルマにより「幸せが循環するような社会」を目指して活動を進めて参ります。

この取り組みは、必要に応じて部品交換や詳細な点検を推奨するため、積極的な入庫マインドを醸成し、人材確保に向け福利厚生の充実を目指す法人ニーズとも合致する。導入企業数はまだ少ないが、サービスの認知度を高めていくことで利用者数を増やしていきたい考えだ。

